

# 「SHIP! SPACE」講座

当事者・家族と、ともに考える、学び合う、対話する、実践する、一步を応援

ハイブリッド講座 第6回 (全12回シリーズ)

## ひきこもる人の 住まいと命と人権を考える

★キーワード★  
引き出し/押し出し/説得

第1部

### 住まい、人権についての 現在と未来

パネルディスカッション・質疑応答

第2部

### 私たちの意思決定、権利擁護を 考える ～本人のことを本人抜きで決めない～

親亡き後、あるいは親に万一のことがあったとき、ひきこもり状態にある人は「明日からどこで暮らすのか」という切実な課題に直面する。しかし、過去には「自立支援」の名のもとに、本人の意思を置き去りにした「引き出す支援」「押し出す支援」が行われてきた現実がある。背景には、「就労」以外の選択肢を示せない相談窓口への失望から、相談そのものを諦めてしまった当事者や家族の存在がある。

厚生労働省が2025年に改訂した「ひきこもり支援ハンドブック」は、「**自立から自律へ**」を掲げ、社会参加や就労のみをゴールとせず、本人が自ら生き方を選択できるよう共に考える支援を基本理念としている。しかし現実には、親亡き後に本人の意思に反して施設入所を勧められた事例もある。施設を離れた後は住まいや所持金を失い、**福祉制度の狭間に取り残される**。さらに、集団生活による心的外傷(PTSD等)や対人不信、家族関係の断絶により、**孤立を余儀なくされる**場合も少なくない。制度も人も頼れる人のない本人たちは、一体どこでどのように生きていけばいいのか。自分が生きる場所を誰が決めるのか。住まいは単なる生活の場ではなく、命と尊厳、人権の基盤である。

本シンポジウムでは、「福祉につながってなくても、受け皿がなくても、**一人ひとりに適した支援**を考えることが行政の義務である」という理念を出発点に、制度の狭間に置かれた人々の住まいと人権、そして本人の意思と尊厳を守るために地域社会が果たすべき役割について考える。



SHIP! 第2号  
特集「生きづらさ」を  
生み出す正体



かとう  
**加藤くみ** 中井町議会議員  
養育里親「里親家庭のあすを考える会」事務局  
事例紹介: 住まいを失った当事者の声とともに



たけはら ゆりこ  
**武原由里子** 志岐市議会議員  
施設を受け入れる地域のあり方とは?



むたみつ お  
**牟田光生** NPO法人教育研究所理事長、  
NPO法人共同生活型自立支援機構 理事  
共同生活型支援の立場から  
～利用者の声とともに～



はやしきょうこ  
**林恭子** 一般社団法人ひきこもりUX会議代表理事  
ひきこもり当事者が望む支援と住まい  
～共同生活型支援について～



ひばな ちかこ  
**日花睦子** KHJ全国ひきこもり家族会連合会 共同代表  
親が望む住まいサポート



もちづき ひろむ  
**望月宣武** 日本羅針盤(ニッポンコンパス)法律事務所  
弁護士  
人権意識と住まい ～法的立場から～



いけがみ まさき  
**池上正樹**  
ジャーナリスト・  
SHIP! 共同代表



うえだりか  
**上田理香**  
SHIP! 共同代表

9月15日(火) 18:00  
～ 20:30

本講座はリアル会場とオンラインの  
ハイブリッド開催です(会場は「結・しぶや」詳細は裏面)  
アーカイブ配信有 10月6日(火)から配信

受講費

ひきこもり・生きづらさ当事者、経験者  
1回1,500円(税込1,650円)

支援者・家族・一般  
1回3,500円(税込3,850円)

SHIP! SPACE 講座は、年間全12回。  
当事者フリーパス・会員フリーパス割引、  
団体割引があります。詳細は  
チラシ裏面・公式サイトをご覧ください。

【お問い合わせ】

一般社団法人 SHIP ひきこもりと共生社会を考えるネットワーク

上田理香(コーディネーター、SHIP 共同代表) 池上正樹(コメンテーター、SHIP 共同代表)

<https://shiphiki>

SHIP! ひきこもり

お申込、  
詳細はコチラ



見えなかったもの、見過ごされていた課題に光を当て、  
生きやすい今とこれからを当事者視点で考えていく

# SHIP! SPACE講座 (2026年度)

今苦しむあなた、家族、支援者、かかわるみなさんに知ってほしいこと、一緒に考え、実践していきたいこと。

## 制度の狭間を当事者視点から考える ～「生きる」と「暮らし」と「尊厳」をテーマに～

全12回

毎月第3火曜日 18時00分～20時30分

オンラインもしくはハイブリッド（アーカイブ有。オンライン開催のみの場合もあります）

※6月のみ2回 ※6月25日のみ木曜開催 ※タイトルは変更になる場合があります

ハイブリッド開催の場合のリアル会場＝渋谷区地域共生サポートセンター《結・しぶや》

渋谷区桜丘町23-21 渋谷区文化総合センター大和田9F

第1回 5/19(火)

いじめ後遺症を  
生きる

講師＝  
イナ 「いじめ後遺症ドットコム」主宰  
瀬尾りお 「いじめからの逃げ方」著者

参考図書：SHIP! 第4号

第2回 6/16(火)

ひきこもりと働く

本人と社会と働くの  
間にあるギャップ  
働きたいが、働くとい  
んなのか？

講師＝当事者、家族、ピアサポーター  
協力：KHJ全国ひきこもり家族会連合会

参考図書：SHIP! 第5号

第3回 6/25(木)

身寄り無し問題と  
8050問題

住まい、医療、身元保証  
家族がいなくても  
情報が助けになる

講師＝  
滝野隆浩 毎日新聞客員編集委員  
藤井奈緒 (一社) 親なきあと相談室  
関西ネットワーク代表理事

第4回 7/21(火)

自分の経験、  
生きづらさを  
言葉にして  
伝えてみる

講師＝  
滝野隆浩 毎日新聞客員編集委員

第5回 8/18(火)

学校の『当たり前』  
を問い直す

不登校・ひきこもり・多様な  
困難の中にいる子どもたちの  
未来を拓くために

講師＝  
西村祐二 岐阜県立高等学校教諭  
内田良 名古屋大学大学院教授

第6回 9/15(火)

住まいと命と人権と  
引き出し・押し出し・説得

講師＝当事者、  
日本羅針盤法律事務所、  
中井町議会議員、養育里親

第7回 10/20(火)

自宅に居たままで  
生活の質を上げる

～ケアの訪問化へ  
医療、内科・歯科等の往診、  
訪問美容、訪問マッサージ等の  
在宅生活を支える  
(KHJ実態調査から)

第8回 11/17(火)

感覚過敏の人が  
感じている世界  
生きづらさを知る

講師＝当事者、家族、有識者  
参考図書：SHIP! 第4号

第9回 12/15(火)

お金のこと  
家族と話すには

きょうだいと家族の葛藤

講師＝兄弟姉妹、家族、有識者  
参考図書：SHIP! 第4号 / たびだち108号

第10回 1/19(火)

生活保護と  
ひきこもり

一步を踏み出す  
当事者たちの声から

講師＝当事者、家族、  
ケースワーカー、有識者  
参考図書：SHIP! 第7号

第11回 2/16(火)

8050問題  
介護と暮らしと発達特性

～片付けられなくても  
買い物できなくても

講師＝地域包括支援センター  
成年後見センター、当事者、家族  
参考図書：SHIP! 第7号

第12回 3/16(火)

自分に合った  
居場所(人)を探して  
～自宅も居場所

講師＝当事者、家族、  
地域の居場所コンシェルジュ  
(昼スナック、お寺、メタバース、  
書店、カウチサーフィン etc.)

参考図書：SHIP! 第8号 / たびだち106号

受講費 オンラインもしくはハイブリッド（アーカイブ有）

当事者・経験者＝1回1,500円（税込1,650円） ※第4回のみ2,000円（税込2,200円）

支援者・家族・一般＝1回3,500円（税込3,850円）

SHIP! 会員フリーパス（全11回・参加可能 第4回はワークのため含まれません）

（定期購読・ネットワーク会員）当事者8,000円（税込8,800円） それ以外の方28,000円（税込30,800円）

※会員以外の方・ニュース会員の方は別料金となります。お問い合わせください。

団体割引＝アーカイブ視聴5名様分のお申込で何名でも無料（1回につき）